

JACPDM主催

2023年10月9日

9時20分～15時
(受付8時50分～)

※昼食は各自でお願いします

新大阪丸ビル別館

(Web配信あり)

JACPDM会員 4千円

非会員 6千円



申込
サイト

世界の小児片麻痺治療と評価 —AHAを中心に—

プログラム概要

- 世界における小児片麻痺に対するリハビリテーションの動向
- AHA評価グループ(AHA18-18, Mini AHA, HAI, BoHA)とは?
- 脳性麻痺における上肢機能の縦断的発達(手指機能、拘縮)
- AHAによって明らかにされた小児片麻痺治療のエビデンス

講師

Lena Krumlinde-Sundholm (OT, PhD)

Karolinska Institutet

Rachel Bard-Pondarré (OT, MSc)

CMCR Les Massues Croix-Rouge Française, Lyon

世界では小児片麻痺に対する様々な介入法が開発され、その有効性を確認するため、両手の遂行を客観的に評価する唯一の方法とされているAHA(Assisting Hand Assessment)がゴールドスタンダードとして広く使われています。

欧州における小児片麻痺治療の潮流、AHAの実際、治療の実際とエビデンスについて、AHA開発者の一人Krumlinde-Sundholm先生と臨床実践をされているBard-Pondarré先生にお話していただきます。

大変貴重な機会ですので、小児片麻痺の診療に関わる方はぜひ参加をご検討ください。

申込サイト(左上QRコード)

https://app.payvent.net/embedded_form/s/show/64e57ca85584e37e0b231812

※ 日本OT協会会員のポイント対象となります。

NPO法人 日本脳性麻痺・発達医学会 (JACPDM)

事務局：兵庫県神戸市北区しあわせの村1番9号 神戸医療福祉センターにここハウス内

ホームページ：<https://www.jacpdm.org/> お問い合わせ先：jacpdm@nikonikohouse.or.jp